

学びの成果 晴れ舞台へ

熊本高専八代 ロボコン全国切符

九州沖縄地区で準優勝



ロボットを操縦する熊本高専八代キャンパスAのメンバー
=15日、八代市

全国高等専門学校ロボットコンテストの九州沖縄地区大会が15日、八代市の八代トヨタカ地建アリーナであり、20チームが4枚の全国大会の切符を懸けて競った。県勢は、熊本高専八代キャンパスAが準優勝し、全国大会への出場を決めた。

全国高専連合会などの主催。制限時間の2分30秒以内に、パイプからつるされたフルーツに見立てたボールの収穫数を競った。コース上の数カ所に設けられた角材とロープの障害物をどう乗り越えるか、アイデアや技術力も試された。準優勝した八代キャンパスAは、特殊

な車輪で本体の向きを変えずに全方向に素早く移動できる機体「Highbrid（ハイブリッド）」で参戦。先端に糸を張ったアームを駆使して高所のフルーツをスムーズに収穫し高得点を出した。決勝戦で北九州高専Bに敗れたが、審査員からは「高得点を可能にする見事な機体」と評された。

全国大会は11月26日に東京都内で開かれる。チームリーダーの満永礼さん（3年）は「全国大会には強力なロボットが集まるので、高得点が取れるよう改善して優勝を目指したい」と意気込んだ。

（上島諒）